

JRCスタッフの 2016年～2017年 ～ memory ～

≪ 設計監理課課長：陳 萌 ≫ (2004年8月入社)



去年はZEH元年と言われており、CO2削減の動きから国策として住宅部門において2020年までの5年間で省エネ住宅のレベルを上げていき、新築住宅がZEH住宅になるように指導しています。ゼロエネ住宅（ZEH）は環境にもよく健康的で快適に過ごせる理想的な住環境である住宅です。

JRCにおいては、いち早くZEHに対応できるように勉強し、経産省の指定ZEHビルダーに登録いたしました！去年はZEH住宅を2棟建築し、2棟とも125万円の補助金を申請することができました。

ZEH住宅の性能には、2つの目標値があります。

1つ目は建物の断熱性能です。設備などの要素を除いて、単に建物その箱だけとしての性能を問います。私達は平成27年の国の断熱基準、神奈川大和の地域でUA値0.87の目標値に対して0.5以内の数値で大幅にクリアしました（数値が小さいほど性能が良い）。

2つ目は一次エネルギー消費量の削減率です。

建物の断熱性能が良くても、給湯機、照明、エアコン等の性能が悪いと一次エネルギー削減には至りません。目標値はBEIと言い、一昨年JRCで建てた低炭素住宅のBEIの削減率は10%以上で、今回建てたZEH住宅のBEIは約40%ほどです！飛躍的な進歩と言ってもいいと思います。残りの60%は、太陽光発電システムなどを設置することによって、±で0になります。そう、これがZEH（ゼロエネ住宅）です！

それから、実はもう一つ大事な目標値があります。

隙間相当面積C値です。幾ら良い断熱材を使っても、壁や窓が隙間だらけでは熱が外に逃げていきます。残念ながら今の技術ではいくら頑張っても0にはなりません。ただし近づける事は出来ます。それは設計とか計算とか関係なく、確実な工法と職人さんの丁寧さが必須です。

その一つとしてLIXILさんが開発したスーパーウォール工法（SW）があります。JRCはLIXILさんのSW工法認定工事店となっており、SW工法を使ってZEH住宅を建築し、そのM様邸（3Pの家造りレポートをご覧ください。）のC値はなんと！0.36cm²/m²を達成！大手ハウスメーカーの半分位の水準まで隙間面積を落としました。

今年も、ZEH住宅の実績をたくさん造っていきますので、是非皆様から暖かい応援をお待ちしております。では、今年も一年間、よろしくお願ひ致します。

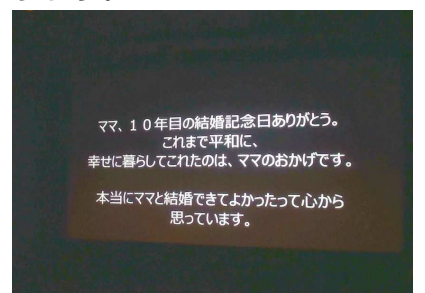
≪ 設計監理課：大橋 幸一 ≫ (2010年1月入社)



去年一番のうれしかった事は、お施主様との会話や打ち合わせの時間が持てたことです。同世代なので、子育ての方法プライベートの話がたくさんできたことが自分にとっての大きな喜びでした。

住宅には多種多様な疑問や心配がお客様にはあると思います。一つ一つ丁寧にお答えできるように勉強をし続け、数ある建築業者の中から、ご依頼いただいたお施主様とご縁と信頼を大切に、ご満足頂くために一生懸命努めさせていただきます。

現場仕事は天候に左右されたり、☆大変な☆場面も多々ございますが、☆大きく変わるチャンス☆だと言い聞かせ笑顔で施工管理をしていきたいと思っています。お客様に喜んでいただくことが自分にとっての最高のモチベーションアップにつながりますので、更に勉強を重ねて微力ながらも建築して頂いた皆様にとって、ずっと「必要」としてもらえる人間でありたいと考えております。



☆映画館貸し切りのサプライズ上映会！家族の絆も深まりました！☆

JRCでは建築施工中の映像をDVDに作成し、お施主様にお引渡し時にお渡しして喜ばれております。清水君にパソコンでの制作方法を指導してもらい、結婚10周年のビデオレターを、嫁に内緒で映画館を貸切してサプライズ上映をしました。

人は何をプレゼントされたことよりどんな気持ちにさせられた事が大切なんだと、仕事を通じて学んでいます。

≪ 設計監理課：藤原 マリクシ 和 ≫

(2014年9月入社)



入社して今年であっという間に3年が経ちます。昨年を振り返ってみると仕事もですが、人間としても勉強になった一年間でした。やっぱり入社して2年も経つと、これはできるだろうという仕事が増えてきます。それに自分の実力を追いつけないといけなので、とても気をひきしめていた1年間でした。

年末はお客様が住みながらのリフォーム工事をさせていただきました。

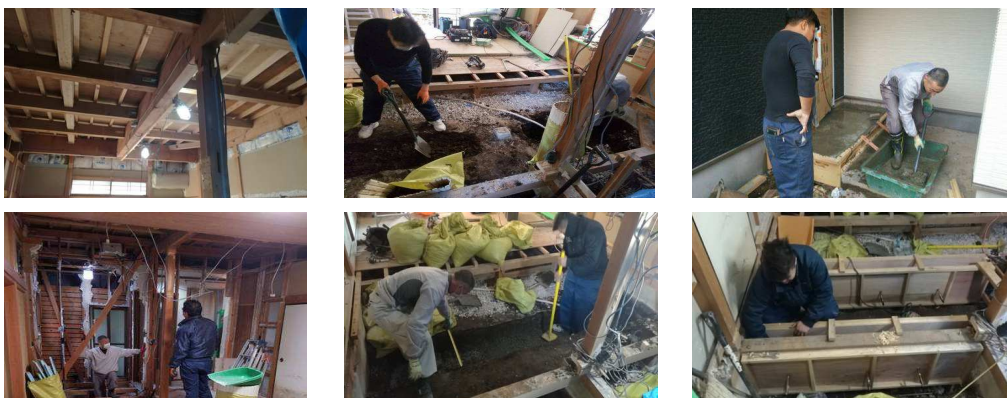
住みながらの工事なので2倍大変です。釘やビスが落ちていたらお客様がケガをする可能性がありますので、とても注意して工事を行いました。工事終わったらきれいに掃除して、普通にお客様が生活できる状態にしてまでその日の工事ですで大変です。

でも大変な事は自分の力になると思っていますので頑張れます！！

次は人が住んでいなくてもこれくらいきれいに工事ができるようになります。

まだまだ半人前ですが、今年も引き続き工事を頑張って勉強して、成長した一年間だと思えるようにしたいです。

今年もよろしくお願ひいたします。



遠藤棟梁とのリフォーム工事。解体、基礎の為の穴掘り、コンクリ打設を教わりました。毎日作業の仕方から手順、段取りまでみっちり鍛えられ、少しは成長しました！

≪ 総務部主任：fujii ≫

(2009年8月入社)



☆家のにゃんこ☆

明けましておめでとうございます。今年は年女！心身共にケアをしながら頑張りたいと思います。今年もどうかよろしくお願ひいたします。

さて、前々回書きました、相続の続きです。（産みの母親の債務が債権者より請求がきて、私達兄弟姉妹は相続放棄をするも却下されてしまった…）

債権者と話し合い、再婚した旦那さんが債務を被るとした『遺産分割協議書』があるのだし、債券放棄してくれるようお願いした。いくら母親の相続といっても小さい時に別れ、顔も覚えてないのだ。しかも母親と再婚した相手もおととしに他界。債権者も事情が事情だけに債券放棄をしてくれる風向きになってきた！しかし・・・

な、なんとその『遺産分割協議書』にはその請求されている債務が記載されていなかったのだ！？そんなこと・・・

記載されていないのなら債券放棄はできません、との事。そんなバカな！そもそも記載されていない債務は私達が知るわけがないのだ！では相続放棄もやり直しできるのでは？結果はすべて”NO”～

一度却下された相続放棄をやり直す事は出来ず、裁判で債務を知らなかった事を証明しなくてはならず、再婚した旦那さん、その子供がすでに死亡している今回の事例では極めて証明が難しく、出来たとしても時間とお金がかかってしまう・・・

私達は相続という法律に敗北いたしました。。。

利息はカットしてもらいましたが、私達兄弟姉妹は法定相続分の元本の支払いをしました。それで債務はきれいになりましたが、法の壁にはかないませんでした。

知らない事は怖い事です。金額が少なくても今回はいい勉強になった、で済みましたが、もし莫大な金額の負債があったら、と思うとぞっといたします。今年、お金のプロとして、相続の事、法制度の事をもっともっと勉強して皆様に伝えていきたいと思っています。